

内在性標的タンパク質にアプローチできる  
比較糖鎖解析が可能です



グライコテクニカ GLI事業部

# 開発途中であきらめた試料 その違い、糖鎖かもしれません

- 有効なバイオマーカーを探したい
- 発現量だけでは有意差がない分子の特異性を示したい
- 電気泳動バンドの移動度に差がみられた原因を解明したい
- 以前糖鎖解析を行ったが満足いく結果が得られなかった
- 特定タンパク質が微量すぎて糖鎖のアッセイが難しい

特定タンパク質を、糖鎖変化まで含め精度よく測定することで  
バイオマーカーとしてのポテンシャルが飛躍的に高まります。

私たちは10年以上の解析経験から、試料中にごく微量に存在する  
特定タンパク質を対象とした比較糖鎖解析を行う高いノウハウを有します。

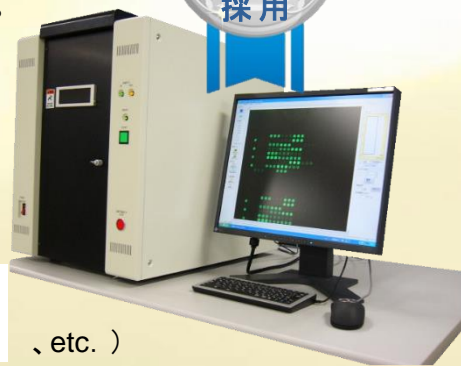
レクチンマイクロアレイをはじめとする、マルチアッセイ技術を基盤とした  
疾患関連糖鎖の精密計測技術を提案することができます。



Glycolite™2200

各種事例はHPをご覧ください。  
その他にも多くの研究実績がございます。

(M2BP 、MMP3 、MUC1 、etc.)



Glycostation™2200



株式会社グライコテクニカ  
〒225-0002横浜市青葉区美しが丘5丁目28-6  
平野ビル3 503号室 TEL: 045-530-4045

GLI事業部  
〒305-0047 つくば市千現2-1-6  
つくば支援センターG棟  
TEL: 029-886-3970



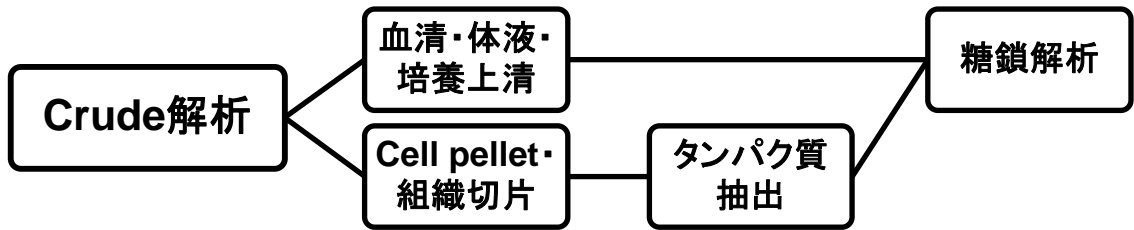
info@glycotechnica.com  
http://www.glycotechnica.com

# グライコテクニカで行う 糖鎖解析の範囲が拡大しました

## 従来の受託解析



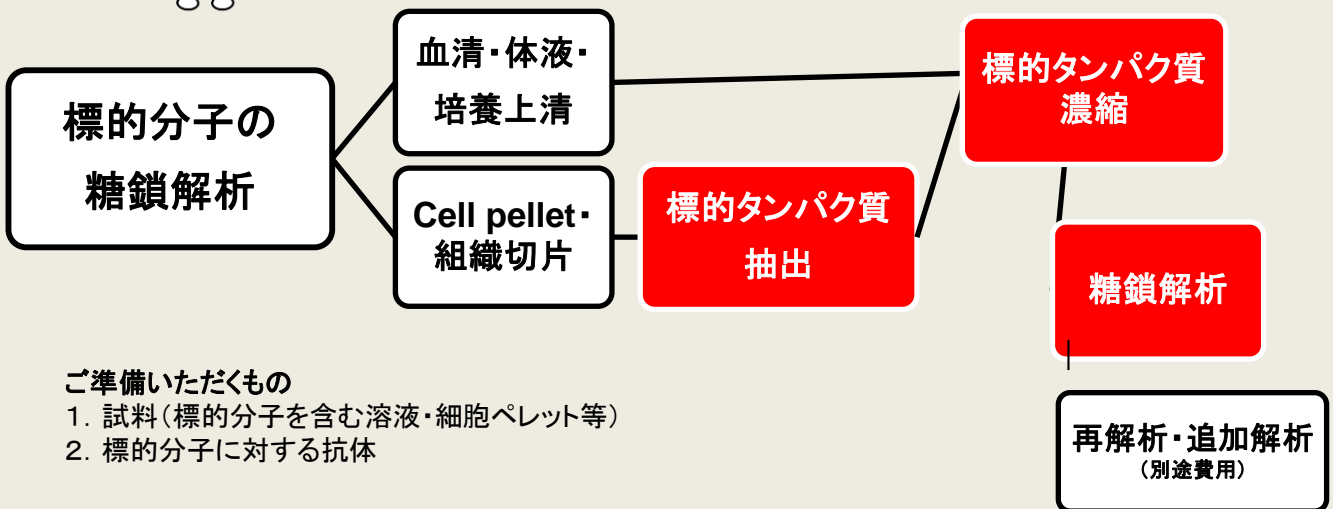
標的分子を特定せず比較解析を行いたい、という方におすすめ



## GLI事業部による新規受託解析



生体試料中の微量な標的タンパク質の糖鎖解析を行いたい、という方におすすめ



ご準備いただくもの

1. 試料(標的分子を含む溶液・細胞ペレット等)
2. 標的分子に対する抗体

多様な分子での解析経験をいかして  
各タンパク質に適した抽出・濃縮・糖鎖解析の方法をご提案します！